

<p>I. 詩篇第22篇から第24篇はキリストを啓示する一組の詩であり、彼の十字架から、彼の牧養を通して、来たるべき時代における彼の王職まで扱っています。詩22:22 私はあなたの御名を私の兄弟たちに言い表し、会衆のただ中であなたを賛美します。23:1 エホバは私の牧者であって、私には欠けるものはありません。24:9 城門よ、あなたがたの頭を上げよ。長く耐え忍ぶ戸よ、上げよ。栄光の王が入って来られる。10 その栄光の王とはだれか？万軍のエホバ、彼こそ栄光の王！セラ</p>	<p>A. 詩篇第23篇は、復活と昇天における牧者としてのキリストに関してであり、第22篇のキリストの贖いの死と彼の召会を生み出す復活と、第24篇のキリストが王として戻って来て、彼のからだとしての召会を通して全地を再び得られることの間架け橋です。</p> <p>B. キリストは彼の天の務めにおいて人々を牧養しており、私たちは彼と協力して人々を牧養する必要があります。もし私たちがこの交わりを受け入れるなら、地上に大きな復興があるようになり、主の再来をもたらします。</p>	
<p>II. ヨハネ第21章は、使徒の務めがキリストの天の務めと協力することを啓示しています。ヨハネ第21章は、ヨハネによる福音書の完成と総括です：</p>	<p>A. ヨハネによる福音書には二十一の章がありますが、実際は第20章で終わっています。</p> <p>B. 本書全体はキリストの地上の務めを取り扱っており、彼が神の言として肉体と成って、肉体にある人と成ることで始まり、彼が最後のアダムとして復活して、命を与える霊と成ることで終わっています。ですから、第21章は補記であるはずですが。</p> <p>C. このように言うことは正しいのですが、さらに内在的に言うと、ヨハネ第21章はヨハネによる福音書の完成と総括です。ヨハネ第21章は、ヨハネによる福音書全体を総括して、キリストの天の務めと使徒たちの務めが地上で共に協力して、神のエコノミーを完成することを見せています。</p>	
<p>III. ヨハネ第10章10節から11節と16節で、主が弟子たちに明らかにしたことは、彼が良い牧者であって、彼が来たのは羊が豊かに命を持つためであるということ、また彼には他の羊(異邦人)もいて、彼はこれらの他の羊を導いて彼ら(ユダヤ人信者たち)と合わせて一つの群れ(一つの召会)とならせ、ひとりの牧者の下に帰させなければならないということです： ヨハネ10:10 盗人が来るのは、盗んだり、殺したり、滅ぼしたりするためにほかならない。私が来たのは、羊が命を得、しかも豊かに得るためである。11 私は良い牧者である。良い牧者は羊のために自分の命を捨てる。16 また私には、この囲いのものではない他の羊もいる。私は彼らをも導かなければならない。彼らは私の声を聞く。こうして一つの群れ、ひとりの牧者となる。</p>		<p>A. 主の牧養することは、第一に彼の地上の務めにおいてでした。 マタイ9:36 そして彼は群衆を見て、彼らに深く同情された。なぜなら、彼らは牧者のいない羊のように、苦しめられ、捨てられていたからである。</p> <p>B. 主の牧養することは、第二に彼の天の務めにおいてであり、神の召会を顧み、彼のからだという結果になります。1 ペテロ5:4 そうすれば、牧者の長が現れる時、あなたがたは、しほむことのない栄光の冠を受けます。</p>
<p>IV. 主はペテロに、彼の小羊を養い、彼の羊を牧養することを託しました：</p>	<p>A. 主は復活の後、昇天の前に、彼の弟子たちと共にとどまっていた時、彼が何回か現れたうちの一回において、彼が天にいてここにいない間、彼の小羊を養い、彼の羊を牧養することをペテロに託しました。ヨハネ21:15 彼らが朝食を済ませた時、イエスはシモン・ペテロに言われた、「ヨハネの子シモンよ、あなたはこれら以上に私を愛するか？」。ペテロは彼に言った、「はい、主よ。私があなたを愛していることは、あなたがお存じです」。イエスは彼に言われた、「私の小羊を養いなさい」。16 イエスはまた二度目に彼に言われた、「ヨハネの子シモンよ、あなたは私を愛するか？」。ペテロは彼に言った、「はい、主よ。私があなたを愛していることは、あなたがお存じです」。イエスは彼に言われた、「私の羊を牧養しなさい」。17 イエスは三度目に彼に言われた、「ヨハネの子シモンよ、あなたは私を愛するか？」。ペテロはイエスが三度目に自分に、「あなたは私を愛するか？」と言われたので、悲しんだ。そして彼はイエスに言った、「主よ、あなたはすべての事をお存じです。私があなたを愛していることは、あなたがお存じです」。イエスは彼に言われた、「私の羊を養いなさい」。</p> <p>B. これは、使徒の務めとキリストの天の務めを合併して、神の羊の群れを顧みることです。神の羊の群れは召会であり、それはキリストのからだという結果になります。</p> <p>C. 後ほど、使徒行伝の中で、ペテロは言いました、「私たちは、祈りと言の務めを堅く持ち続けることにしましょう」。これは、キリストの天の務めと協力することです。この務めはとりなしの務めであり、また神を彼の人々の中へと供給する務めです。使徒6:4 ただし私たちは、祈りと言の務めを堅く持ち続けることにしましょう」。</p> <p>D. ペテロは主のこの委託でとても印象づけられたので、彼の第一の手紙で信者たちに、彼らは羊のようにさまよっていたが、今は、彼らの魂の牧者また監督者に立ち返ったと告げました： 1 ペテロ2:25 あなたがたは羊のようにさまよっていましたが、今は、あなたがたの魂の牧者また監督者に立ち返ったのです。</p> <p>E. ペテロは長老たちに、彼らの間の神の羊の群れを牧養するよう勧めています。それによって、牧者の長が現れる時、彼ら、忠信な長老たちは、しほむことのない栄光の冠を受けます。 1 ペテ5:2 あなたがた(長老たち)の間の神の群れを牧養しなさい。強いられてではなく、自ら進んで、神にしたがって監督し、卑しい手段で利得を求めることによってではなく、熱心に監督しなさい。3 また割り当てられた人たちの上に、権力を振るうのではなく、むしろ群れの模範となりなさい。</p> <p>F. ペテロの言葉が示しているのは、キリストの天の務めはおもに神の召会を牧養することであり、その召会は彼の羊の群れであり、彼のからだという結果になるということです。</p>	<p>1. キリストは私たちに内住して、私たちの命またすべてとなっていますが、彼はまた私たちの内なる存在の状態と状況を監督し、観察しています。</p> <p>2. 彼が私たちを牧養するのは、私たちの内なる存在の益を顧みることにより、また私たちの魂、私たちの実際のパースンの状態を監督することによります。ヘブル13:17 あなたがたを導く人たちに従い、彼らに服しなさい。なぜなら、彼らは弁明する者として、あなたがたの魂を見守っているからです。それは、彼らがこれをうめきをもって行なうのではなく、喜びをもって行なうためです。そうでないと、これはあなたがたにとって益にはならないでしょう。</p>
<p>V. 使徒パウロの次の言葉も、使徒の務めがキリストの天の務めと合併することが、神の羊の群れを顧みるためであることを見せています：</p>	<p>A. 使徒第20章28節で、パウロはエペソの長老たちに告げました、「あなたがた自身と群れ全体に気をつけなさい。聖霊は彼らの間に、あなたがたを監督として立てられ、神がご自身の血を通して獲得された[あるいは、買い取られた]神の召会を牧養させるのです」。 使徒20:28 あなたがた自身と群れ全体に気をつけなさい。聖霊は彼らの間に、あなたがたを監督として立てられ、神がご自身の血を通して獲得された神の召会を牧養させるのです。</p> <p>B. パウロは言いました、「私が去った後、凶暴なおおかみどもがあなたがたの間に入って来て、羊の群れを惜しまないことを、私は知っています」。使徒は自分の命を顧みませんでした、召会の前途を非常に心配していました。召会は、彼の宝であり、また神の宝です。</p> <p>C. パウロはヘブル第13章20節で言います、「神[は]…永遠の契約の血による羊の大牧者である私たちの主イエスを死人の中から引き上げた」；ヘブル13:20 平安の神、すなわち、永遠の契約の血による羊の大牧者である私たちの主イエスを死人の中から引き上げた方が。</p>	<p>1. この永遠の契約は新しい遺言の契約であり、それは羊の群れ、すなわち召会を得るためであって、その結果はキリストのからだであり、新エルサレムを究極的に完成します。神の永遠の契約は、牧養することによって新エルサレムを究極的に完成することです。</p> <p>2. 神が私たちの主を死人の中から引き上げたのは、彼を大牧者とならせて、神の永遠の契約にしたがって新エルサレムを究極的に完成させるためです。</p>

<p>VI. キリストの天の務めと合併された使徒の務めの主要な目的また目標は、キリストのからだを建造することであり、それは新エルサレムを究極的に完成し、神の永遠のエコノミーを完成します。 <u>エペソ3:2</u> あなたがたのために、私に与えられた神の恵みの執事職について、あなたがたは確かに聞いていることでしょう。8 すべての聖徒のうちで最も小さい者よりも小さい私に、この恵みが与えられたのは、キリストの計り知れない豊富を、異邦人に福音として宣べ伝えるためであり、9 それはまた、万物を創造された神の中に、各時代にわたって隠されてきた奥義のエコノミー〔経綸〕が何であるかを、すべての人を照らして明らかにするためであり、<u>Iペテロ5:10</u> しかし、あらゆる恵みの神、キリスト・イエスにあってあなたがたをご自身の永遠の栄光の中へ召してくださった方は、あなたがたがしばらく苦しみを受けた後、彼自らあなたがたを成就し、堅固にし、カづけ、土台づけてくださいます。</p>			
<p>VII. 神の永遠のエコノミーの主要な目的と究極的完成のために神の羊の群れを牧養するこの事柄は、雅歌でも言及されています：</p>	A. 「私の魂の愛する方、私に教えてください。あなたはどこであなたの羊の群れを〔満足のために〕飼っているのですか？ 厩にはどこで〔安息のために〕伏させるのですか？」		
	B. 「出て行って羊の群れの足跡に従い、そして羊飼いの天幕のそばで、あなたの子やぎを飼いなさい。」		
<p>VIII. 信者たちを牧養することは、彼らが命において成長するために極めて重要です。私たちは牧養の道を取って、福音を宣べ伝え、召会を復興しなければなりません：</p>	C. 「わが愛する方は私のもの。私は彼のもの。彼はゆり〔単一な心で神に信頼する生活をする、キリストを追い求める者〕の間で群れを牧養しています。」		
	D. 「私はわが愛する方のもの、わが愛する方は私のもの。彼はゆりの間で群れを牧養しています。」		
	A. 私たちはこのように祈るべきです、「主よ、私は復興されたいです。今日から私は牧養する者になりたいです。私は行って人を養い、人を牧養し、人を群れとならせたいです。」		
	B. ヨハネ第10章と第21章で、主は牧養することに関して三つの言葉を用いました。それは、「養いなさい」、「牧養しなさい」、「群れ」です。私たちは「群れ」という言葉を動詞として用いることもできます。		
	C. すべての召会は、どのようにして人を共に群れとならせて、彼らが共にブレンディングされるようにすることができるかを学ばなければなりません。長老と同労者たちは、率先してこの事を実行すべきです。		
<p>IX. 金の燭台を有機的に維持することは、キリストの天の務めであって、彼の人性において諸召会をはぐくみ、また彼の神性において諸召会を養って、彼の有機的な牧養を通して勝利者を生み出すことです： <u>啓1:12</u> 私は、私に語りかけたその声を見ようとして振り向いた。振り向くと、七つの金の燭台を見た。13 その燭台の間に、人の子のような方が、足まで垂れた衣を着て、胸に金の帯を締めておられた。2:7 耳のある者は、その霊が諸召会に言われることを聞くがよい。勝利を得る者には、神のパラダイスにある命の木から食べさせよう。』</p>	A. 人の子は彼の人性の中にあり、金の帯は彼の神性を表徴し、胸は愛のしるしです：	<p>1. キリストは腰に帯を締め、神聖な働きのために強められて、諸召会を生み出しました。しかし今、彼は胸に帯を締めており、彼の愛によって彼が生み出した諸召会を顧みています。</p> <p>2. 金の帯は、キリストの神聖な活力としてのキリストの神性を表徴します。胸は、この金の活力が彼の愛によって、また彼の愛をもって行使され、動機づけられて諸召会を養うことを表徴します。</p>	
	<p>B. キリストは人の子として、彼の人性において諸召会を顧みて、諸召会をはぐくんでいます：</p>	<p>1. 彼は燭台のともし火を整えて、それを適切にし、私たちをはぐくんで、私たちを幸いにし、喜ばせ、心地良くさせています： <u>出30:7</u> アロンはその上で、かおり高い香をたかなければならない。朝ごとにともし火を整えるとき、香をたかなければならない。 <u>詩42:5</u> わが魂よ、なぜうなだれるのか？なぜ私の内で思い乱れるのか？神を待ち望め。私は彼の御顔の救いのゆえに、なおも彼をほめたたえます。 <u>42:11</u> ああ、わが魂よ、なぜうなだれているのか？なぜ私の内で思い乱れるのか？神を待ち望め。私はわが顔の救い、またわが神である彼をほめたたえます。</p>	<p>a. 主の臨在は優しく温かい雰囲気をもたらして、私たちの存在をはぐくみ、私たちに安息、慰め、いやし、清め、励ましを与えます。</p> <p>b. 私たちは召会において主の臨在のはぐくむ雰囲気享受着して、養う命の供給を受けることができます。 <u>エペソ5:29</u> 自分の肉体を憎んだ者はかつてなく、むしろ、キリストが召会に対してなされるように、それを養いはぐくむのです。 <u>Iテモテ4:6</u> これらの事を兄弟たちの前に提示するなら、あなたはその信仰の言と、あなたが緊密に従ってきた良い教えの言に養われて、キリスト・イエスの良い奉仕者となります。</p>
		<p>2. 彼は燭台の灯心を切り取り、私たちが輝くのを妨げるすべての消極的な事柄を切り落としします： <u>出25:37</u> また、燭台のともし火皿を七つ作り、ともし火をともし、その前方に光を照らすようにしなければなりません。38 その芯切りばさみと芯取り皿は純金でなければなりません。</p>	<p>a. 灯心の焦げた部分、すなわち灯花は、神の定められた御旨にしたがっておらず、切り落とされる必要のある事柄を表徴します。それは私たちの肉、天然の人、自己、旧創造などです。<u>出27:21</u> 集会の天幕の中、証しの箱の前にある垂れ幕の外側で、アロンとその子たちは、夕から朝まで秩序正しく、エホバの御前でその〔燭台〕のともし火を整えなければなりません。<u>30:7</u> …朝ごとにともし火を整えるとき、… 8 アロンは夕暮れにともし火をともしるとき、…</p> <p>b. 彼は諸召会の間にあるすべての違い(過ち、短所、失敗、欠点)を切り取ります。それによって諸召会は、本質、外観、表現において同じになります。 <u>Iコリ1:10</u> さて兄弟たちよ、私は、私たちの主イエス・キリストの御名を通して、あなたがたに懇願します。どうか、あなたがたがみな同じ事を語り、あなたがたの間に分裂がなく、同じ思いの中で、また同じ意見の中で調和されますように。 <u>ピリピ2:2</u> どうかあなたがたは同じ事を思い、同じ愛を持ち、魂において結合され、一つの事を思って、私の喜びが満ちるようにしてください</p>
<p>C. キリストは彼の神性において、彼の胸にある金の帯によって表徴される神聖な愛をもって諸召会を顧み、諸召会を養っています：</p>	<p>1. 彼は三つの時期の満ち満ちた務めにおいて、すべてを含むキリストとしてのご自身をもって私たちを養います。それによって私たちは神聖な命において成長し円熟して、彼の勝利者となって、彼の永遠のエコノミーを完成します。</p> <p>2. 彼は歩くキリストとして各召会の状態を知ります。また彼は語る霊として燭台を整え、新鮮な油、すなわち、その霊の供給をもって燭台を満たします。 <u>啓2:1</u> 「エペソに在る召会の使者に書き送りなさい。『右の手に七つの星を持つ者、七つの金の燭台のただ中を歩いている者が、こう言われる。 <u>7</u> 耳のある者は、その霊が諸召会に言われることを聞くがよい。勝利を得る者には、神のパラダイスにある命の木から食べさせよう。』</p> <p>3. 私たちは彼の行動にあずかり、彼の顧み享受着するために、召会の中いなければなりません。</p>		
<p>X. キリストのすばらしい牧養を通して、私たちは今日も、また永遠にわたって彼を私たちの祝福として享受します。 <u>イザヤ49:10</u> 彼らは飢えることも渇くこともない。また、灼熱も太陽も彼らを打つことはない。彼らに深く同情する方が彼らを導き、水の泉のほとりに伴われるからである。 <u>啓7:17</u> 御座の中央にいる小羊が彼らを牧養し、命の水の泉に導いてくださり、また神が彼らの目から、涙をことごとくぬぐい取ってくださるからである。」</p>			

経験:①多忙な在職生活の中にあっても、キリストの天の務めと協力して牧養する

すべての召会が…、キリストのすばらしい牧養にあずかるなら、回復の中に大きな復興があるようになります。…牧養することと教えることは、私たちが主と共に行動するための二本の足のようであるべきです。私たちの牧養することは、常に教えることを伴っているべきであり、私たちの教えることは、常に牧養することを伴っているべきです。

ヨハネによる福音書第21章は、使徒の務めがキリストの天の務めと協力することを啓示しています。キリストは彼の天の務めにおいて人々を牧養しており、私たちは彼と協力して人々を牧養する必要があります。牧養がなければ、主のための働きに効果はありません。私たちはすべての真理を学んで、語るものを持ち、行って人と接触し牧養しなければなりません。

牧養は神聖なことです。牧する者となるために、私たちはキリストの証し人、キリストの肢体、キリストの兄弟となり、彼の子たる身分にあずからなければなりません。そうすれば、私たちは子たる身分の発言にあずかり、預言者になるでしょう。神の発言のための預言者として、私たちは主のために語ります。同時に、私たちは人を牧養する必要があります。これが実を結ぶ道であり、増殖と拡張を得る道です。このような交わりが私たちに受け入れられるなら、地上で大きな復興があるようになると、私は信じます。それは数名の霊的巨人によるのではなく、キリストのからだの多くの肢体による復興です。

在職青年編:

在職青年は召会の腰であり、会社においても業務を執行することで中核を担っています。したがって、あなたがたは召会においても会社においても責任を担う必要があります。あなたは決して次のように考えてはいけません、「会社では重要な責任を担わないようにする。そうすれば召会の奉仕を行うことができる」。このような考えは、サタン戦略から来ています(もちろんあまりにも忙しすぎる場合や主日が聖別できない場合は転職を検討する必要があります)。

あなたにとってビジネス・ライフは、以下の4つの目的のためにあります。

- ビジネス・ライフの実際的な状況の中で、すべてを含むキリストをあなたの知恵、忍耐力、洞察力、力、すべてとして経験し享受する。
- 自分自身と自分の家族を経済的に支える
- 召会の財政的な必要を支える
- 忙しさの中でイエスの証しとなり、忙しい中にある福音友人に福音を伝え、新人を牧養する

忙しさの中で他の人のために祈り、顧み、養うことが真実な祈り、牧養です。暇になってから牧養を始めると考えないでください。そのように考えるとあなたは結局定年になるまで牧養できないでしょう。そうではなく、忙しく時間がない現在の状況の中で牧養することを学んでください。このことについて、ドリップ・イリゲーション(点滴灌漑)の祈りと牧養がとても効果的です。あなたは祈りのグループを形成し、毎日1分間の祈りをLineなどを用いて、実施してください。また、牧養のグループを形成し、牧養のための1分間の交わり、メッセージの抜粋、御言葉を文章やボイス・メッセージで送ることができます。このようにして、忙しさの中にあるビジネス・パーソンが忙しさの中にある友人、新人を牧養することができます。あなたも是非今週から実行してください。兄弟の証し:私は30歳の時に就職してから、27年間非常に多忙な中で、奉仕してきました。会社を早く帰るためにさまざまな理由を考えて早く帰りました。例えば、今日は親戚が家に来るので早く帰りますと言いました(兄弟姉妹は霊的な親戚ですので、嘘ではありません)。ときどきサタンが攻めて来て、「あなたのそのような理由は毎週毎週続けることはできないでしょう」と訴えてきました。確かにある意味でその通りなのですが、私が単純に一日一日、主に信頼することで、27年間、主は奇跡的にこのような生活を維持することを助けてくださいました。主に感謝します。クリスチャン生活は明日のことを思い煩わず、一日一日主を経験し、主で満たされ、主と共に前進する生活です。

マタイ6:33 むしろ、まず父の王国と父の義を求めなさい。そうすれば、これらの物衣食住の必要はすべて、あなたがたに加えられる。34 こういうわけで、明日のことを思い煩ってはならない。明日は明日自身が思い煩うからである。その日の苦労は、その日だけで十分である。

経験:②その霊が諸召会に言うことを聞き、勝利者となる

啓2:1「エペソに在る召会の使者に書き送りなさい、『右の手に七つの星を持つ者、七つの金の燭台のただ中を歩いている者が、こう言われる。7 耳のある者は、その霊が諸召会に言われることを聞かす。勝利を得る者には、神のパラダイスにある命の木から食べさせよう』。

私たちの大祭司が諸召会の中で供給する結果は、多くの勝利者が生み出されることです。…私たちは今やこの務めの下にいます。キリストは忙しく諸召会の間を歩いて語っておられます。彼は諸召会の間を歩くとき、すべての人に語られます。

彼の語りかけは、彼が何であるかにしたがっており、また召会の状態にしたがっています。あらゆる手紙で、彼はご自分がだれであるか、何であるかを言うことによって開始されます。そして彼はまたあらゆる場合に、召会が何であるかにしたがって語られます。彼の語りかけは実際的に装備します。彼は歩くとき、キリストです。彼は語るとき、その霊です。

あなたの経験はこれを確証するでしょう。キリストが来てあなたの地方の召会の間を歩かれたとき、あなたは照らされ叱責されました。歩くキリストは、語る霊となりました。キリストはその霊です。彼の語ることによって、あなたは命の木と隠されたマナで供給されます。そしてあなたは造り変えられます。少しずつ泥のものが洗い去られ、あなたは白い石となり、神によって義とされ、受け入れられ、よしとされて、彼の住まいを建造し、それは新エルサレムにおいて究極的に完成します。私たちは決して自分自身を改善することはできません。私たちは、絶えず私たちが養う牧者を必要とします。

中高生編:

中高生の兄弟姉妹は、若い時からその霊の語りかけを聞くことにより、主の牧養を享受してください。主はあなたが努力奮闘して、大学受験の勉強を勤勉に行うことを願っています。コロサイ1:29 このために、私もまた労苦し、私の内で力をもって活動している彼の活動にしたがって、奮闘しているのです。

あなたは将来、大学や大学院に進学しても、就職しても、努力奮闘しなければ淘汰されてしまいます。主は諸召会の間を歩き、あなたを牧養しています。主はまずあなたの勉学に対するいい加減な態度を暴露し、叱責されます。あなたがこの暴露と叱責にアメンするなら、主は命をあなたに供給し、造り変え、前進させ、あなたを証しのある中高生にすることができます。

マタイ25:15 彼はある者に五タラント、ほかの者に二タラント、ほかの者に一タラントを、それぞれの能力にしたがって与えた。…20 すると、五タラントを受けた者が来て、ほかに五タラントを持って来て言った、『ご主人さま、あなたは私に五タラントを渡されましたが、ご覧ください、ほかに五タラントをもうけました』。21 主人は彼に言った、『よくやった、良い忠信な奴隷よ。あなたはわずかな事柄に忠信であった。私はあなたに多くの事柄を管理させよう。あなたの主人の喜びに入りなさい』。22 その二タラントを受けた者も来て言った、『ご主人さま、あなたは私に二タラントを渡されましたが、ご覧ください、ほかに二タラントをもうけました』。23 主人は彼に言った、『よくやった、良い忠信な奴隷よ。あなたはわずかな事柄に忠信であった。私はあなたに多くの事柄を管理させよう。あなたの主人の喜びに入りなさい』。24 一タラントを受けた者も来て言った、『ご主人さま、あなたは厳しい人で、まかなった所から刈り取り、散らさなかった所から集めることを、私は知っていました。25 そこで私は恐ろしくなり、去って、あなたのタラントを地に隠しました。ご覧ください、これがあなたのものです』。26 主人は彼に答えて言った、『邪悪で怠惰な奴隷よ。あなたは、私がまかなった所から刈り取り、散らさなかった所から集めることを知っていた。』

主はあなたが一人一人にタラントを能力に従って与えられました。主は一タラントの人には一タラントを、二タラントの人には二タラントを、五タラントの人には五タラントをもうけることを期待しています。ここでの論点はタラントを完全に使い切るということです。使い切るために、あなたは努力奮闘しなければなりません。そして、主はどれだけもうけたかではなく、どれだけ努力奮闘し、忠信であったかに注意されます。五タラントをもうけた者も、二タラントをもうけた者も、主の褒め言葉は同じです。さらに、主は要求において厳しい方であることを否定しておられません。召会生活はあなたにとって、要求だけを見るととても厳しいのです。しかし、要求に見合う供給があるので、主の牧養に開き、豊かな供給を享受してください。そうすればあなたはタラントをフルに活用することができます。アメン！

ヨハネ 8 章のマイルストーン: 罪の束縛の下にある人の必要—命が解放する

By 神大BSG OB/OG

ヨハネ 8:1 しかし、イエスはオリブ山へ行かれた。2 そして朝早く、彼は再び宮に入られた。人々がみな彼の所に来たので、彼は座って、彼らに教えられた。3 すると、聖書学者たちとパリサイ人が、姦淫の時に捕まった女を連れて来て、真ん中に立たせ、

4 イエスに言った、「先生、この女は姦淫を犯しているところを捕まえられました。

5 モーセは律法の中で、そのような女を石打ちにするよう、私たちに命じています。ところで、あなたは何と言われますか?」。6 彼らがこう言ったのは、イエスを試すためであり、彼を訴える口実を得ようとしたのである。しかし、イエスは身をかがめて、指で地面に書いておられた。7 彼らがしつこく問い続けたので、イエスは立ち上がって彼らに言われた、「あなたがたのうちで罪のない者が、まず彼女に石を投げなさい」。

8 そして再び、彼は身をかがめて、地面に書かれた。9 彼らはそれを聞くと、老人から始まって、一人また一人と去って行った。そしてイエス一人が残され、女はその真ん中に立っていた。10 イエスは立ち上がって、彼女に言われた、「女よ、彼らはどこにいるのか? だれもあなたを罪に定めなかったのか?」11 彼女は言った、「主よ、だれもいません」。イエスは言われた、「私もあなたを罪に定めない。行きなさい。今後はもう罪を犯してはいけません」。12 こうして、イエスは再び彼らに語って言われた、「私は世の光である。私に従う者は、決して暗やみの中を歩くことがなく、命の光を持つ」。

24 あなたがたは、『私はある』を信じないなら、自分の罪の内に死ぬ」。

聖書学者たちは非常に興奮して、姦淫の場で捕らえられた女を石打ちにするように訴えました。しかし主は身をかがめて、指で地面に書いておられました。主は、「罪のない者がこの者を石打ちにするがよい」と書いておられたのかもしれませんが。それはまた、興奮して訴える者たちを鎮静化させるための行為でした。彼らがしつこく問い続けたので、イエスは立ち上がって彼らに言われました、「あなたがたのうちで罪のない者が、まず彼女に石を投げなさい」。その後、老人から始まって、一人また一人と去って行きました。そしてイエス一人が残され、女はその真ん中に立っていました。この女は、主の前に立って、自分が姦淫の罪のゆえに殺されると考え、恐れ、震えていたでしょう。この時、あなたがイエスなら、あなたは何と言ったでしょう? 10 節と 11 節をもう一回読んでください。

10 イエスは立ち上がって、彼女に言われた、「女よ、彼らはどこにいるのか? だれもあなたを罪に定めなかったのか?」11 彼女は言った、「主よ、だれもいません」。イエスは言われた、「私もあなたを罪に定めない。行きなさい。今後はもう罪を犯してはいけません」。

これは何という愛のある言葉でしょう。主がそこに留まっておられたことは、主が罪のない方であることを示しています。主は彼女を罪定めする資格はありましたが、そうされませんでした。ヨハネ 3 章の以下の御言葉を読んでください。

ヨハネ 3:16 神はそのひとり子を賜わったほどに、世の人を愛された。それは、彼の中へと信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を持つためである。

ここでの世の人とは、罪のゆえに墮落した人、罪人のことを言っています。神は世の

人、姦淫の女を愛されました。神の深い愛に感謝します。

この章の事例は、罪の問題と関係のあるすべての事柄を啓示します。(1) 罪の源—悪魔。(2) 罪の三つの主要な項目—姦淫と不品行、殺人、うそ。(3) 罪の束縛、あるいは奴隷。(4) 罪の結末、あるいは結果—死。(5) 罪のない方—主。(6) 罪定めする資格のある方—主。(7) 罪を赦す資格のある方—主。(8) 人を罪から解放することができる方—主。主は永遠に存在する神、大いなる「私はある」方であり、人の子となって、十字架に上げられ、私たちの罪を担われました。ですから彼は、私たちの罪を赦す資格があります。さらに主は永遠の神であり、私たちの中に入って命と光となり、私たちを罪の束縛と暗やみから救い出すことができます。

「私はある」という神聖な名称は、神が自ら存在し、永遠に存在する方、彼ご自身以外の何もより頼まない方であることを意味します。「私はある」として、彼はすべてを含む方、すべての積極的な事物の実際、必要とするすべての実際です。例えば、あなたには知恵が必要です。「私はある」方として、主は知恵です。あなたは喜びに欠けています。主は喜びです。あなたは暗くなっている時、主はあなたの光になることができます。主は、「私は…ある」方なので、あなたが必要とする積極的なものは何でも主がそれであるのです。

あなたは主イエスが、「私は…ある」方である、すなわち、主が神が人となられた方であることを信じてください。そうすれば、主はあなたの内側で命の光となり、あなたの心の内側の暗闇を照らし、罪の束縛からあなたを解放することができます。命の光は、内なる命の感覚によって人の内側を照らし、人を罪から救い出します。ハレルヤ!

あなたは姦淫を犯した女のように、ありのままの状態の主の前に立ってください。主はあなたの心の中に多くの罪があることをご存知なのですが、あなたに次のように言われます、「私もあなたを罪に定めない。行きなさい。今後はもう罪を犯してはいけません」。何と恵みと愛に満ちた言葉でしょう!

あなたは主の前に出た後、主が「私はある」方であると信じてください。そして、自分の罪を告白してください。そうすれば、主はあなたの罪を赦し、あなたの内側に神の命を分与します。この命はあなたの内側で命の光となり、あなたを罪の束縛から解放することができます。主があなたのキャンパス・ライフを祝福してくださいませように。アーメン!

244 救いを得た確信と喜び — 主によって解放される

1 主はわれをかい放された; イエスわがおう、すくいぬし;
霊に満たされ、日々うたう; われ、かい放された!
(復) 栄こうのかいほう! つみにしばられない;
血であらわれ、ひかり得た; われ、かい放された!

2 地のきずな、断ち切られた; つみと情よく、ちからなし、
おもいわずらい、なやみなし; われ、かい放された!

3 主はそくばく打ちやぶり、わがため、あく魔ほろぼす;
めぐみのひかりかがやく; われ、かい放された!

1. 我因归耶稣,
全人得着释放;
耶稣我救主,
今在我心作王;
圣灵充满我,
使我终日欢唱;
主耶稣已把我释放!
释放! 释放! 荣耀释放!
我不再被罪恶捆绑;
宝血洗净我, 全人明亮, 清爽;
主耶稣已把我释放!